

## 2003 年度（平成 15 年度）第 5 回常務理事会記録

日時：2003 年（平成 15 年）10 月 18 日（土）13：30～15：40

場所：東京大学医学部 2 号館（本館）南側地下カンファレンスルーム

出席者：廣川信隆（理事長）、河田光博、柴田洋三郎、高田邦昭、山科正平（以上、常務理事）、依藤宏（幹事）、小森雄一郎（学会事務センター）

欠席者：なし

### .会議記録の確認

2003 年度第 4 回常務理事会記録（案）及び同摘録（案）

### .報告事項

#### 1.庶務報告（高田庶務担当理事）

##### 1) 会員異動報告（正会員 2,535 名 2003 年 10 月 18 日現在）

2003 年 6 月分 入会者 正会員 2 名 学生 7 名 退会者 正会員 6 名  
名誉 1 名 住所変更等 11 件

2002 年 7 月分 入会者 正会員 7 名 学生 3 名 退会者 正会員 3 名  
名誉 1 名 評議員 1 名 住所変更等 5 件

2002 年 8 月分 入会者 正会員 1 名 学生 4 名 退会者 正会員 9 名 学生 1  
名 住所変更等 15 件

##### 2) 逝去会員

吉塚光明氏（久留米大・医・1 解剖 教授 / 学術評議員）2003 年 10 月 15 日（水）  
逝去（享年 53 歳）

##### 3) 教授就任による学術評議員就任者

瀧澤俊広氏（日本医大・1 解剖 / 旧 自治医大・解剖（組織）講師）就任日 2003  
年 7 月 1 日付け

##### 4) 学会に届けられた文書等

通知等

a. 日本医師会より「日本医学会（97 学会）分科会への倫理に関する調査結果」（報告書）

b. 日本学術会議より i) 第 19 期日本学術会議会長及び副会長就任挨拶状 ii) 「科学における不法行為とその防止について」（報告書）

c. 科学技術振興事業団より「平成 15 年度委託開発事業」開発課題・開発実施企業第 2 回募集案内他、5 件の通知、挨拶状等が届いている。

書籍、定期通信 他

（財）日本学術協力財団より、「学術の動向 2003 - 7 ~ 9」他、6 件の定期通信が届いている。

##### 5) 第 108 回総会・全国学術集会事業報告

標記の事業報告が提出された。

#### 6) その他

第 19 期日本学術会議「解剖学研究連絡委員会」委員について

8 名の委員が決定した旨、報告があった。

JST 学会抄録データベースについて

第 107 回全国学術集会抄録のデータベース化に伴う変換は JST が実施することになり、その作業が終了、利用可能となったことが報告された。

学会ホームページについて

トップページを変え、会議記録を掲載する場所が明瞭になるようにした。

平成 16 年度科研費（研究成果公開促進費）公募説明会報告

日本学術会議第 18 期解剖学研究連絡委員会活動報告

平野寛第 18 期研連委員長より報告書が提出された。

第 19 回形態科学シンポジウム開催報告

#### 2. 編集報告（柴田編集担当理事）

##### 1) 「ASI」及び「解剖学雑誌」刊行報告

刊行状況につき説明があり順調に出版されている旨、報告があった。

##### 2) 「科学技術情報発信・流通総合システム（J-STAGE2）」説明会報告

システムアップに伴う変更点、研修会等についての報告があった。

#### 3. 企画・渉外報告（河田企画・渉外担当理事）

##### 1) 平成 15 年度一級技術士試験報告

解剖組織技術士資格審査委員会委員長 大野伸一山梨医大教授より、一級解剖技術士申請者 3 名、一級組織技術士申請者 1 名につき、試験を実施し、4 名ともに合格と認定した旨の報告があった。

##### 2) 第 16 回国際解剖学会議（2004 年度開催）準備状況について

学術会議との合同委員会、シンポジウムの準備状況等についての報告がなされた。

##### 3) 日米解剖学会合同シンポジウムについて

2004 年 4 月米国で開催の “ Experimental Biology 2004 Conference ” における “ Cardiac Pacemaking and Conduction System ” のシンポジストとして、島田達生大分大学教授、西井清雅九州大学助手を、日本解剖学会の代表として派遣することで米国側も了承した旨、報告があった。

##### 4) 生物科学学会連合について

標記学会連合に関し、11 月 12 日（水）開催予定の連絡会議における予定議案について連絡があった旨の報告がなされた。

#### 4.会計報告（山科会計担当理事）

- 1) 2003 年度会計中間報告（7～9 月分）及び、平成 15 年度収支仮決算報告  
収支に関し、特に大きな問題はない旨、報告があった。
- 2) 平成 16 年度予算案策定の方針について  
標記につき、審議を兼ねて、報告が行われた。
- 3) 第 108 回総会・全国学術集会収支決算報告
- 4) 賛助会員及び寄付拡大キャンペーン経過報告  
現在までに賛助会員 2 件 6 口、寄付拠出 8 件 14 口集まったことが報告された。

#### 審議事項

##### 1.永年会員証について

平成 7 年度に作製した永年会員証の在庫がなくなり、新たな制作が必要となった。このため事務局で次回常務理事会までに見本、見積りを作成しておくことになった。

##### 2.解剖学用語（日本整形外科学会からの問い合わせ）について

日本整形外科学会学術用語委員会より、整形外科学用語と不一致の解剖学用語に関し、解剖学用語委員会坂井建雄委員長宛に問い合わせがあった。これに対し、「日本語による解剖学用語」をまとめた清木勘治前委員長の意見も参考にして用語委員会でまとめた回答案が報告、審議され、承認された。

##### 3.「解剖学用語集」の出版について

解剖学用語委員会で検討の「解剖学用語集」の出版に関し、資料を基に審議が行われ、次回の理事会に諮られることが決定された。

##### 4.東北・北海道支部学術評議員会からの学術評議員選考及び資格認定制度の可否について

東北・北海道支部の学術評議員会から 申請による学術評議員選考について、 ) 審議基準の明確化と不認定の場合の推薦者への理由の開示 ) 現評議員資格の見直しの必要性の有無 資格認定制度の制定の可否について、の要望・質問が寄せられた。これに対し、 ) に対しては理事会における選考基準及び選考プロセスについて検討を進める。 ) については現状ではかなり困難、 ) については理事会において審議する、という結論に達した。

##### 5.平成 17 年度科研費審査委員候補者選出選挙「推薦委員会」編成について

標記の件につき、審議が行われ、作成した案を理事会にかけることになった。

##### 6.「弔慰に関する申し合わせ書」(内規)について

解剖学会の法人化以前に制定された標記の内規は現状に合わない点もあったため、改訂案が審議され、一部訂正の上、承認された。

##### 7.「解剖学振興基金」に関する規程ならびに「基本財産の運用益の用途に関する規程」の作成について

公益法人の内部留保に関する調査が来ているが、その際の提出書類に標記の規程が必要とされている。従ってこれら規定を早急に作成し、次回の常務理事会、理事会で審議することが決定された。

#### 8.平成 15 年度第 3 回理事会議題（案）について